

週刊ニュース
みんなには

日本共産党
横浜市議員



日本共産党戸塚区委員会
戸塚町3884-1
TEL：045-865-0074
FAX：045-865-0594

大和田あきお

他都市の経験学んで横浜に生かす

書かないワンストップ窓口…北見市

日本共産党横浜市議団（5人）は、4月25日、北海道の北見市を訪れ、「書かないワンストップ窓口」を視察しました。



この取り組みは、来庁者が各種手続きをする際に、窓口で「書類を書かない」で手続きができる行政サービスのことです。全国的に注目が集まり、導入する自治体が増えています。

北見市では、2013年度から様々な取り組みを行っています。効果としては、住民からは「1か所で手続きが終わる」「もれなく手続きにご案内される」「何度も同じことを言わなくてもよい」とした評価を受け、職員からは「窓口を回らない分の職員対応が減少」したことで、相談業務などの充実を図ることができたとしています。



北見市で実際の窓口を体験しました



会計は最後になります(証紙売機なし)

「どこバス」…網走市

4月26日、北海道の網走市を訪れ、同市が2020年度から取り組んでいる「網走どこでもおでかけ『どこバス』」を視察しました。



どこバスは、10人乗りの乗用車タイプ車両で、網走市が補助を金出し、民間バス会社が運営する事業で、市内に22ヶ所の停留所があります。電話で予約すると、乗車したいバス停にバスが来る仕組み。路線バスのような経路や時刻表はありません。事業が始った理由は、「路線バスの利用が少ない日中は小型バスで間に合うのではないか」「利用者の要望に応じてバスを配車してはどうか」との声が高まったことが背景。料金は一回500円（回数券でお得な制度あり）で、バスよりは高いけど、タクシーよりは安い設定。2023年度は延べ約5万人が利用しました。（人口約3万6千人）



網走市役所庁舎で「どこバス」レクチャーを受けました



「道の駅 流水街道網走」から「網走駅まで」予約し乗車。待ち時間30分、女性親子と乗り合いました。

日本共産党横浜市議団は、誰もが安心して暮らせる横浜市を目指し、他都市の実践を学んで市政に提案していきます。視察報告の詳細は、後日団ホームページに掲載する予定です。